

# 浅ノ川総合病院初期臨床研修プログラムⅢ

## 研修理念

指導医のもとに、医師としての人格を養い、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的要望を認識し、日常診療で頻繁に遭遇する負傷や疾患に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な知識・技能および態度を身につける。

## 1. プログラムの名称

浅ノ川総合病院初期臨床研修プログラムⅢ

## 2. プログラムの目的と特徴

### 1) 目的

本プログラムは、将来プライマリ・ケアに対処しうる第一線の臨床医、あるいは高度の専門医のいずれを目指すにも必要な診療に関する基本的な知識・技能および態度を修得するための2年間のプログラムである。

### 2) 特徴

#### (1) 当院の特徴

- 1) 当院は、金沢市北部にある病床数499の民間病院である。高度な総合医療を実行し得る施設として診療実績を残している。
- 2) 地域医療においては地域医療連携室を設置して地域密着型医療を進めると共に、救急医療の分野でも地域医療に高く貢献している。
- 3) 図書室の充実（国内図書12,704冊、国外図書7,990冊、国内雑誌49種、国外雑誌17種）に加えて、図書室にインターネットによる文献検索システムを構築している。
- 4) 平成27年5月日本医療機能評価機構による施設認定3rdG:Ver.1.0を受けた。

#### (2) 指導医体制

臨床経験の豊かなスタッフを豊富に有しており、研修に際しては指導医と研修医とのマンツーマン方式を採用する。

#### (3) 期間割について

一年次は、必修科目である内科6ヵ月、救急部門3ヵ月、選択必修科目（小児科、産婦人科、精神科、外科、麻酔科より2科目以上かつ期間は1科目1ヵ月単位で最大2ヵ月）3ヵ月の研修を行う。二年次は、必修科目である地域医療1ヵ月と、残りの11ヵ月間については研修医が自主的に研修に取り組めるよう、興味のある診療科を中心に研修を行い、すでに将来の専門分野を決めている研修医のため、専門性の高いプログラムを用意している。（期間は1ヵ月単位）（期間割表、診療科は6ページを参照）

(4) プログラムの運用について

プログラム責任者を長とする研修医集会ならびに指導医集会を設けてプログラムに対する研修医・指導医の意見を臨床研修委員会に的確に反映させることにより、発展的なプログラムの運用を図る。

3. 研修指導体制と研修参加施設の概要

1) 臨床研修教育責任者

荒木一郎（浅ノ川総合病院長）

2) プログラム責任者

光田幸彦（臨床研修委員長、臨床研修センター長、脳神経外科部長）

3) 研修施設とその概要

浅ノ川総合病院（病床定数 499 床、19 診療科）

詳細は病院概要を参照（資料 1）

桜ヶ丘病院（病床定数 496 床、3 診療科）

心臓血管センター金沢循環器病院（病床定数 184 床、5 診療科）

金沢大学附属病院（病床定数 822 床、19 診療科）

金沢医科大学病院（病床定数 835 床、28 診療科）

浦添総合病院（病床定数 302 床、23 診療科）

医王病院（病床定数 310 床、8 診療科）

珠洲市総合病院（病床定数 199 床、13 診療科）

公立宇出津総合病院（病床定数 188 床、17 診療科）

市立輪島病院（病床定数 199 床、13 診療科）

公立穴水総合病院（病床定数 177 床、11 診療科）

公立つるぎ病院（病床定数 152 床、15 診療科）

下地第 2 脳神経外科（病床定数 19 床、7 診療科）

乙部町国民健康保険病院（病床定数 52 床、3 診療科）

長崎県上五島病院（病床定数 186 床、15 診療科）

4) プログラムに参加する診療科

浅ノ川総合病院の診療科（詳細は 6 ページ参照）

心臓血管センター金沢循環器病院：循環器内科、心臓血管外科

桜ヶ丘病院：精神科

金沢大学附属病院：小児科、神経内科

医王病院：小児科

金沢医科大学病院：全診療科

浦添総合病院：内科、救急部門

珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院、公立つるぎ病院、下地第 2 脳神経外科、乙部町国民健康保険病院、長崎県上五島病院の 8 病院は地域医療

#### 4. 研修計画

##### 1) 期間割と研修医配置予定

(1) 研修期間 平成 30 年 4 月に開始、2 年間とする。

##### (2) 期間割

###### 一年次研修：

内科 6 ヶ月、救急部門 3 ヶ月、選択必修科目（小児科、産婦人科、精神科、外科、麻酔科より 2 科目以上かつ期間は 1 科目 1 ヶ月単位）3 ヶ月をローテートし、主としてプライマリ・ケアの基本を習得する。内科および救急部門の研修においては浦添総合病院にて最大 3 カ月の選択が可能。精神科の研修は金沢医科大学病院あるは桜ヶ丘病院、小児科の研修は金沢大学附属病院あるいは金沢医科大学病院、医王病院での研修のいずれかを選択する。研修科目の順序については、研修医の希望により変更が生じる可能性がある。なおこの変更は臨床研修委員会において承認を得る。

###### 二年次研修：

地域医療 1 ヶ月、残りの 11 ヶ月は選択科目をローテートし研修する。なおこれらの選択研修期間は、到達目標の未了が生じた場合の研修補足期間に当てることができる。選択を希望する科目については、研修開始前に各自の希望を臨床研修委員会に提出し、同委員会で承認を得る。選択科目については、必修科目ならびに選択必修科目との重複を認める。二年次における研修科目の順序については、研修医の希望により変更が生じる可能性がある。なおこの変更は選択科目の承認と同時に臨床研修委員会において承認を得る。

また、金沢医科大学病院では全診療科において最大 3 カ月の選択が可能。

##### 期間割表（例）

###### 一年次

3 ヶ月	3 ヶ月	3 ヶ月	3 ヶ月
内科	救急部門	内科	選択必修科目

###### 二年次

1 ヶ月	11 ヶ月
地域医療	選択科目

選択科目：内科、腎臓内科、神経内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、皮膚科、救急部門（以上、浅ノ川総合病院）

内科・救急部門（浦添総合病院）

精神科（桜ヶ丘病院）

循環器内科、心臓血管外科（心臓血管センター金沢循環器病院）

小児科（医王病院または金沢大学附属病院）

神経内科（金沢大学附属病院）

全診療科（金沢医科大学病院）

地域医療（珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院、公立つるぎ病院、下地第2脳神経外科、乙部町国民健康保険病院、長崎県上五島病院より選択）

2) 2年次での11ヵ月の選択科目での具体例を3例紹介する。

(例1) 糖尿病 内分泌コース（6～11ヵ月間）

神経内科、腎臓内科、循環器内科（金沢循環器病院）、眼科、形成外科を選択研修し、糖尿病の合併症である網膜症、腎症、血管合併症、下肢閉塞性動脈硬化症や糖尿病足に対するケアを横断的に学ぶ。当院の透析センターは石川県最大の規模であり、金沢循環器病院での研修で、虚血性心疾患、閉塞性心疾患、閉塞性下肢動脈硬化症など豊富な症例と質の高い診療ができる。

(例2) 定位放射線手術コース（1～3ヵ月間）

当院ではガンマナイフ、ノバルスを用いて、頭蓋・脊椎病変、鼻咽喉部癌、肺癌、肝癌、前立腺癌等に定位放射線手術、強度変調型放射線治療を行っている。年間600例の症例数は世界のトップクラスに位置し、卓越した治療効果を報告している。本コースは放射線のメスといわれる定位放射線手術に特化した研修を行い、外科医の感性に基づく新世代の放射線治療を体験できる。

(例3) 神経疾患マスターコース（2～3ヵ月間）

当院では、神経内科医と脳神経外科医が協力してこれらの神経疾患の治療を行っており、てんかん手術、パーキンソン手術などを行うことのできる先進的な脳神経センターとして知られている。本コースは神経診断学、神経内科的治療の習得、実践のみならず、脳神経外科手術も体験できる神経疾患完結型の研修が特徴である。

3) 研修目標と研修内容

臨床研修の必修化に伴って提示された「臨床研修の到達目標」を基盤として作成した臨床研修カリキュラム(資料2)に従った臨床研修を通してプライマリ・ケアの基本を修得すると共に、その後の進路を的確に判断する能力を身につける。

4) 研修医の勤務時間

午前8時30分から午後5時(休憩1時間)

時間外勤務なし(但し、時間外で必要とされる勉強会等には積極的な参加を勧める。)

5) 教育に関する行事

(1) オリエンテーション：研修最初の1週間に院内規定、施設設備の概要と利用法、文献と病歴の検索方法、健康保険制度、医事法規などについての説明がある。

(2) 研修医が属している各科の回診、カンファレンス、抄読会に出席し、発表、

報告する。また、病院全体の講習会、セミナーなどにも参加する。

内科研修時の例：①内科・神経内科顧問による講義（各週1回）

②内科系カンファレンス（毎週水曜）

③内科・外科オープンカンファレンス・キャンサーボード（奇数月第3月曜）

④医局全体勉強会（毎月第1水曜）

⑤CPC（不定期）

⑥病診連携勉強会（不定期）

⑦院内開催講習会・セミナー（多数） など

## 6) 指導体制

研修医1名につき指導医1名が指導にあたる。必要に応じて専門医の指導を受ける。

## 5. プログラムの管理運営体制

臨床研修委員会を毎月開催し、研修計画の進行状況を検討する。選択必修科目で選択しない場合の到達目標達成に向け、当直時や救急研修時に補うため、研修ノートを毎回臨床研修委員会時に提出させ、状況の確認をする。また研修医集会、指導医集会を通じて研修医、指導医の意見を臨床研修委員会に反映させる。年度末に開催される臨床研修委員会において、その年度の研修および指導内容を評価し、それに基づいて次年度の研修計画を立て、これを公表する。

## 6. 研修評価

1) 研修医に対する評価：研修医は、各科ローテーション終了時に研修医用評価表に沿って自己評価を行う。一方、各指導医は研修終了時に指導医用評価表により評価を行う。2年間のプログラム終了時には臨床研修委員会が研修目標達成を認定する。

2) 指導医に対する評価：研修医は、各科ローテーション終了時に指導医評価表に記入してプログラム責任者に提出する

## 7. プログラム修了の認定

①2年間で90日超の休止期間がないこと ②研修医・各指導医は、到達目標について達成したかどうかの評価を行い、プログラム責任者はこれについて確認をする。（特に必須項目については、厳しく確認する）③病院群臨床研修委員会にて、①②の報告及び臨床医としての適性を評価し、委員全員の承認にて、修了を認定とする。プログラム修了の認定を得られた研修医に対して、病院長（臨床研修教育責任者）は、このプログラムを修了したことを記した「修了証書」を授与する。

## 8. プログラム修了後のコース

初期臨床研修修了後、希望者は浅ノ川総合病院で引き続き正職員として採用し、後期研修を行なう。また、他の研修病院や大学病院での研修を希望される方には、責任を持ってお世話させていただきます。

※過去の修了者進路状況：金沢大学第2内科・整形外科・眼科・放射線科、金沢医科大学衛生公衆学・整形外科・肝胆膵内科、石川県立中央病院麻酔科、富山大学眼科、当院神経内科、他、北陸3県以外の病院など。

## 9. 研修医の処遇

身分：常勤医

健康管理：定期健康診断を年1回以上実施。

保険：社会保険あり、医師賠償責任保険は個人加入。

医療事故への対応：診療にかかわる医療事故の主たる責任は主治医が負うが、研修医は受持医として、重大事故発生の場合は、直ちに指導医に連絡して指示を受ける義務がある。

研修手当：一年次 手当 510,000 円（月額、諸手当込）、賞与 300,000 円（年額）  
二年次 手当 550,000 円（月額、諸手当込）、賞与 400,000 円（年額）

宿 舎：なし（希望者には斡旋します）

自主的な研究活動に関する事項：

学会・研究会への参加費用は年2回までは病院負担。それ以外は自己負担。

別途、講習会受講料は病院負担。

## 10. 募集定員

4名（総定数8名）

## 11. 出願手続きと資料請求先

出願受付開始 平成29年7月1日（土）

出願締め切り 平成29年8月14日（月）

出願書類 初期臨床研修申込書（下記への申し込みにより、募集要項に同封する。当院のホームページを参照）、履歴書（市販）、卒業証明書または卒業見込証明書、医師免許証（取得者のみ）

選抜方法および期日 面接：第1回 平成29年8月29日（火）14:00（予定）  
第2回 平成29年9月5日（火）14:00（予定）  
（第2回は第1回が不都合な方に限る）

マッチングシステムを採用

資料請求・出願先 浅ノ川総合病院 医療秘書室 坂本  
〒920-8621 金沢市小坂町中 83 番地  
TEL 076-252-2101 FAX 076-252-2102  
HP <http://www.asanogawa-gh.or.jp/>  
e-mail [info@asanogawa-gh.or.jp](mailto:info@asanogawa-gh.or.jp)

## 病院の紹介

1951年の開設以来、地域密着型の高機能総合病院として、地域住民に信頼される医療の提供が目標。現在は機能の異なる5つの病院と1つの老人保健施設を運営する「医療法人社団 浅ノ川」の基幹病院として、また協力関係施設のケアセンター・グループホーム・特別養護老人ホーム・看護学校や診療所などと連携しながら、地域住民へ医療・福祉・介護の複合的な提供体制を構築している。入院環境は急性期医療を担う病院であると同時に高齢化する地域の需要にも配慮し、医療療養型や介護療養型をあわせ持つケアミックス型の病院として運営。今後は近隣の病院・医院と設備の共同利用などをさらに推し進め、総合的な地域医療の展開を目指している。

### 1. 浅ノ川総合病院の概要

- 1) 病床数 499 床（一般 339 床、療養 160 床）
- 2) 入院患者数  
一般病床 211.1 人／日（平成 28 年度実績）  
平均在日数 15.8 人／日（平成 28 年度実績）  
呼吸器病床 31.7 人／日（平成 28 年度実績）  
療養病床 148.4 人／日（平成 28 年度実績）  
外来患者数 511.2 人／日（平成 28 年度実績）  
手術総数 3,782 件／年（平成 28 年度実績）
- 3) 医師数 常勤 54 名、非常勤 9.2 名（常勤換算） 平成 29 年 4 月現在
- 4) 診療科（標榜科数 19 科）  
内科、精神科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、  
脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、  
麻酔科、リハビリテーション科、腎臓内科、心臓血管外科  
その他標榜外  
救急外来、透析センター、化学療法センター、人工呼吸センター、  
定位放射線外科センター（γナイフ、ノバルリス）、PET-CT画像センター、  
産科センター、リハビリテーションセンター、結石破碎センター、内視鏡センター、  
健診センター、療養センター、臨床検査センター、糖尿病内分泌センター

### 2. 学会認定施設

- ・ 日本内科学会認定医教育関連病院
- ・ 日本高血圧学会専門医認定施設
- ・ 日本糖尿病学会認定教育施設
- ・ 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・ 日本消化器病学会専門医修練施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設

- ・ 日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・ 日本整形外科学会認定医研修施設
- ・ 日本形成外科学会認定医研修施設
- ・ 日本神経学会専門医制度教育関連施設
- ・ 日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設
- ・ 日本脳卒中学会認定研修教育施設
- ・ 日本てんかん学会てんかん専門医研修施設
- ・ 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・ 日本腎臓学会研修施設
- ・ 日本透析医学会教育関連施設
- ・ 日本麻酔科学会認定病院研修施設
- ・ 日本医学放射線学会放射線科専門医訓練機関
- ・ 日本核医学専門医教育病院
- ・ マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・ 日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・ 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・ 日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設
- ・ 日本栄養療法推進協議会NST稼働施設



### 3. 診療科の概要

診療科名	常勤医師数	指導医数	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	備考
内科	15	8	112.1	113.2	
精神科	0	0	2.3	0	
神経内科	3	1	26.4	29.1	
循環器内科	0	0	11.8	0	
小児科	1	0	5.1	1.7	
外科	4	3	27.3	36.0	
整形外科	3	2	52.6	48.1	
形成外科	1	1	12.4	1.2	
脳神経外科	3	2	30.0	50.5	
皮膚科	1	0	19.8	0	
泌尿器科	3	1	26.0	5.7	
産婦人科	2	2	19.4	7.8	
眼科	2	2	30.2	8.2	
耳鼻咽喉科	1	1	30.6	5.2	
放射線科	3	1	7.4	0	
麻酔科	3	2	0.1	31.6	
リハビリ科	3	0	1.4	36.9	
腎臓内科	4	2	81.2	31.5	
健診センター	—	—	15.1	1.2	
透析センター	—	—	腎臓内科として計上	腎臓内科として計上	
合計	52	28	511.2	408.0	

※1 平成28年度実績より

※2 医師数は常勤医師数(研修医は除く)のみ(平成29年4月現在)

#### 4. 病院の沿革

昭和 26 年 11 月	浅ノ川病院 開設
昭和 35 年 7 月	桜ヶ丘神経サナトリウム 開設
昭和 44 年 1 月	浅ノ川総合病院 開設
昭和 51 年 4 月	卯辰山記念病院 開設
昭和 55 年 5 月	金沢脳神経外科病院 開設
昭和 58 年 10 月	桜ヶ丘神経サナトリウム 観法寺町に新築移転
昭和 62 年 6 月	浅ノ川総合病院 小坂町に新築移転
平成 2 年 1 月	浅ノ川総合病院別館(現在の東館) 新築
平成 3 年 3 月	医療法人社団松窓会 設立、柳橋ケアセンター 開設
平成 3 年 5 月	松窓会 金沢循環器病院 開設
平成 8 年 3 月	柳橋ケアセンター 田中町に新築移転 田中町温泉ケアセンターに改称
平成 9 年 7 月	ガンマナイフ導入
平成 10 年 4 月	卯辰山記念病院 千木町に新築移転 千木病院に改称
平成 11 年 10 月	医療法人社団浅ノ川 設立 5 病院 1 施設を統合
平成 11 年 11 月	浅ノ川総合病院 西館新築
平成 13 年 9 月	浅ノ川総合病院 東館新築
平成 16 年 9 月	定位放射線外科センター 設置 日本第 1 号機となる「ノバリス」による治療を開始
平成 17 年 3 月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.4 認定
平成 17 年 9 月	PET-CT 画像センター 設置 北陸初となる「PET-CT」導入
平成 18 年 2 月	MRI 棟新築 より高度な画像診断を実現する 3.0 テスラ MR 装置を北陸初導入
平成 18 年 3 月	臨床研修病院に指定
平成 19 年 5 月	人工呼吸センター(東館 4 階)設置 正面駐車場に別館 完成
平成 19 年 10 月	7 対 1 看護配置の実施
平成 20 年 7 月	回復期リハビリテーション病棟(東館 5 階)設置
平成 22 年 5 月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.6.0 認定
平成 23 年 1 月	介護療養病棟を医療療養病棟に転換
4 月	石川県地域がん診療連携推進病院に指定
平成 24 年 4 月	金沢市内発となる 320 列 CT 装置 導入
8 月	急性期病棟の一部病床に亜急性期病床を設置
平成 25 年 4 月	あさのがわ訪問リハビリ・訪問介護ステーション設置
5 月	てんかんセンター設置

平成 25 年 11 月 超音波センター設置  
平成 26 年 10 月 地域包括ケア病棟(本館 6 階)設置  
平成 27 年 5 月 財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver.1.0  
認定  
平成 28 年 10 月 地域包括ケア病棟(本館 4 階)設置

プログラムの詳細についてお知りになりたい方は当院医療秘書室・坂本までご連絡ください。  
別途、プログラム冊子を郵送させていただきます。